Canon

Satera MF5750/MF5770

ファクスガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。
システム構成およびご購入した製品によっては、必要のない説明書もあります。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- **製品の設定方法については**
- **ソフトウェアのインストールについて知るには**

セットアップシート
MF5730/MF5750 のみ

- **製品の設定方法については**

セットアップシート（本体設置編）
MF5770 のみ

- **ソフトウェアのインストールおよび説明については**
- **ネットワークの設定方法については**

セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）
MF5770 のみ

- **コピーおよびプリントに関する説明については**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **ファクスに関する説明については**
- **困ったときには**

ファクスガイド（本書）
MF5750/MF5770 のみ

- **ソフトウェアのインストールおよび説明については**
- **プリント、スキャナ動作およびコンピュータからのファクス動作について知るには**
- **困ったときには**

ソフトウェアガイド

- **リモート UI に関する説明については**

リモート UI ガイド
MF5770 のみ

- **ネットワークの接続と設定方法については**

ネットワークガイド
MF5770 のみ

製品名

・F146502 (Satera MF5750)
・F146502 (Satera MF5770)

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
-

ファクスガイドの構成について

第 1 章 お使いになる前に　**必ずお読みください**

第 2 章 基本情報を登録する

第 3 章 ダイヤル登録機能

第 4 章 送信するには

第 5 章 受信するには

第 6 章 各種レポート / リストをプリントする

第 7 章 困ったときには

第 8 章 各種機能の登録 / 設定

第 9 章 付録

本製品の仕様や索引を掲載しています。

目次

第 4 章　送信するには

第 5 章　受信するには

第 6 章　各種レポート / リストをプリントする

第 7 章　困ったときには

第 8 章　各種機能の登録 / 設定

第 9 章　付録

著作権について

はじめに

このたびは Canon Satera MF5700 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや本製品を使用する上で役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、操作するキーを以下のように記号と [ ] を用いて表しています。[ ] 内には操作パネル上のキー名称が示されています。

[スタート] を押します。

画質　[画質] を押します。

ディスプレイに表示されるメッセージ

ディスプレイのメッセージには以下のように < > で囲んで表しています。

- <ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> が表示されたときは、本製品は原稿を読み取れません。
- 番号が登録されていないときは、<ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ> と表示されます。

お使いになる前に

1
CHAPTER

本製品のファクスの操作に使用する操作パネル、待受画面について説明します。

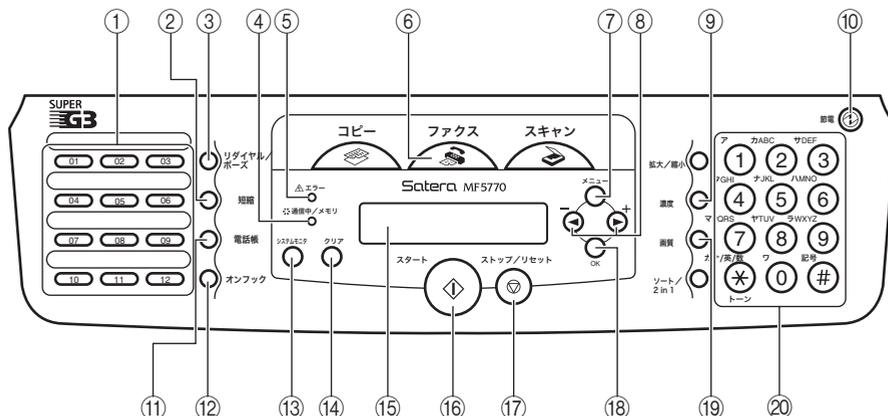
カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「7章　困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

操作パネル

ファクスの送信 / 受信およびメニュー設定に使用するキーについて説明します。

ここで説明のないキーについては、「ユーザーズガイド」の「1 章　お使いになる前に」を参照してください。

■ MF5770

① **[ワンタッチ ダイヤル] キー**
ワンタッチダイヤルに登録したファクス / 電話番号にダイヤルするときに押します。

② **[短縮] キー**
短縮ダイヤルに登録したファクス/電話番号にダイヤルするときに押します。

③ **[リダイヤル / ポーズ] キー**
電話番号入力中はポーズ挿入、ファクス待機中はリダイヤルのボタンになります。

④ **通信中 / メモリ ランプ**
ファクスの送受信中、または通話中は緑色に点滅します。
ファクス送信の予約中、またはメモリ受信中は点灯します。

⑤ **エラー ランプ**
紙詰まりなどの問題が発生したとき、赤色に点滅します。（ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。）

⑥ **[ファクス] キー**
ファクスモードに切り替えます。

⑦ **[メニュー] キー**
各種の設定・登録を行うときに使います。

⑧ **[◀(-)] および [▶(+)] キー**
選択項目をスクロールするときに押します。

⑨ **[濃度] キー**
ファクスの濃度を調節するとき押します。

⑩ **[節電] キー**
手動で節電モードを設定・解除するときに押します。節電モード設定中は緑色に点灯します。

⑪ **[電話帳] キー**
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録したファクス/電話番号を検索してダイヤルするときに押します。

⑫ **[オンフック] キー**
接続した電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに押します。

⑬ **[システムモニタ] キー**
コピー、ファクス、プリント、レポートの状況を確認するときに押します。

⑭ **[クリア] キー**
ディスプレイの入力内容をクリアします。

⑮ **ディスプレイ**
メッセージや動作状況を表示します。また設定時に選択項目、テキスト、数字を表示します。

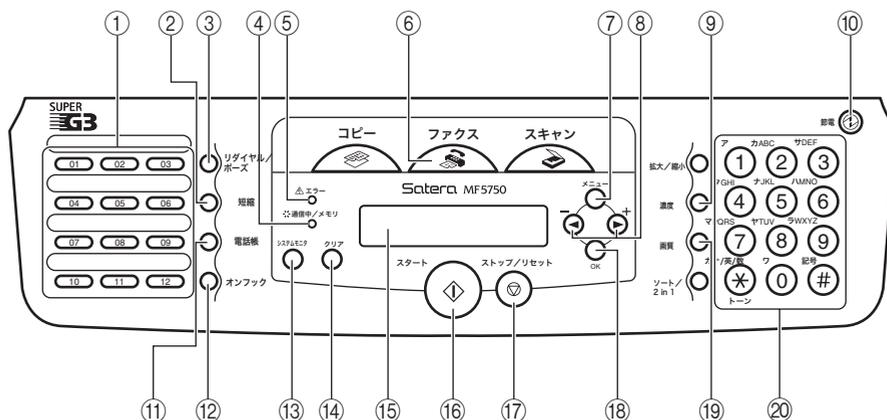
⑯ **[スタート] キー**
ファクスの送受信を開始するときに押します。

⑰ **[ストップ / リセット] キー**
ファクスの送受信その他の操作をキャンセルし、待受画面に戻すときに押します。

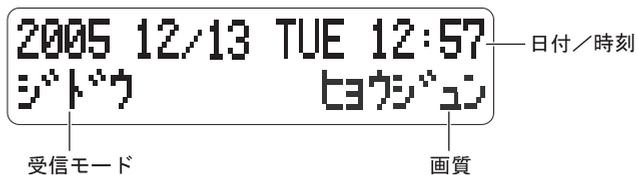
⑱ **[OK] キー**
設定または登録した内容を確定するときに押します。

⑲ **[画質] キー**
原稿の画質を調節するときに押します。

⑳ **テンキー**
ファクス / 電話番号などのダイヤル / 登録で、数字や文字を入力するときに使用します。

■ MF5750

待受画面

待受画面は選択したモードに応じて異なります。
ファクス モードの待受画面をつぎに示します。

■ **ファクス モード**

メモ　コピーモードとスキャン モードの待受画面については、「ユーザーズガイド」の「1 章 お使いになる前に」を参照してください。

基本情報を登録する

ここでは、ファクスの送受信に必要な情報を登録する方法について説明します。

文字を入力する

名称の入力を促す画面が表示されたら、次のように文字を入力してください。

文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。

メモ　以下ではカナとアルファベットの入力方法を説明します。数字を入力するときは、[⁎] を 2 回押して < :1> を選択し、入力したい数字のテンキーを押します。

カナを入力する

例：「トウキョウ」と入力します。

1　画面入力モードが < : ア > になっていることを確認します。

```
ナマエ                :ア
_
```

2 入力する文字をテンキーで選択します。

キーを押すたびに、次の表で示した順に文字が切り替わります。

キー	入力される文字
ア 1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
カABC 2	ｶｷｸｹｺ
サDEF 3	ｻｼｽｾｿ
タGHI 4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
ナJKL 5	ﾅﾆﾇﾈﾉ
ハMNO 6	ﾊﾋﾌﾍﾎ
マPQRS 7	ﾏﾐﾑﾒﾓ
ヤTUV 8	ﾔﾕﾖｬｭｮ
ラWXYZ 9	ﾗﾘﾙﾚﾛ
ワ 0	ﾜｦﾝ
記号 #	ﾞﾟｰ

「トウキョウ」と入力するときは、次のように押します。

4 4 4 4 4 →ト

1 1 1 →ウ

2 2 →キ

8 8 8 8 8 8 →ョ

1 1 1 →ウ

メモ

- 入力モードは [⁎] を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。
- スペースを入れたいときには [▶(+)] を押します。
- 文字を消去するには、［クリア］を押します。
- カーソルは [◀(-)][▶(+)] を押すと移動させることができます。
- 同じキーの文字を続けて入力するときは、[▶(+)] を押してカーソルを右へ移動します。
- 入力を間違えたときは、[◀(-)][▶(+)] と［クリア］を使って間違えた文字を消去してから入力し直します。
- ［クリア］を長く押して、入力した文字をすべて削除することもできます。

3 すべての文字を入力したあと、［OK］を押します。

アルファベットを入力する

例：「Tokyo」と入力します。

1 [⁎] を押して、< :A> を選択します。

```
ナマエ                    :A
_
```

2 入力する文字をテンキーで選択します。

キーを押すたびに、次の表で示した順に文字が切り替わります。表にあるように［1］、[#]を押すことで記号を入力することもできます。

<table>
<tr><th>キー</th><th>入力される文字</th></tr>
<tr><td>1</td><td>@.-_/</td></tr>
<tr><td>2</td><td>ABCabc</td></tr>
<tr><td>3</td><td>DEFdef</td></tr>
<tr><td>4</td><td>GHIghi</td></tr>
<tr><td>5</td><td>JKLjkl</td></tr>
<tr><td>6</td><td>MNOmno</td></tr>
<tr><td>7</td><td>PQRSpqrs</td></tr>
<tr><td>8</td><td>TUVtuv</td></tr>
<tr><td>9</td><td>WXYZwxyz</td></tr>
<tr><td>#</td><td>-.*#!",;:^'_=/|’?$@%&+¥()[ ]{ }< ></td></tr>
</table>

「Tokyo」と入力するときは、次のように押します。

8 → T

6 6 6 6 6 6 → o

5 5 5 5 5 → k

9 9 9 9 9 9 9 → y

6 6 6 6 6 6 → o

メモ

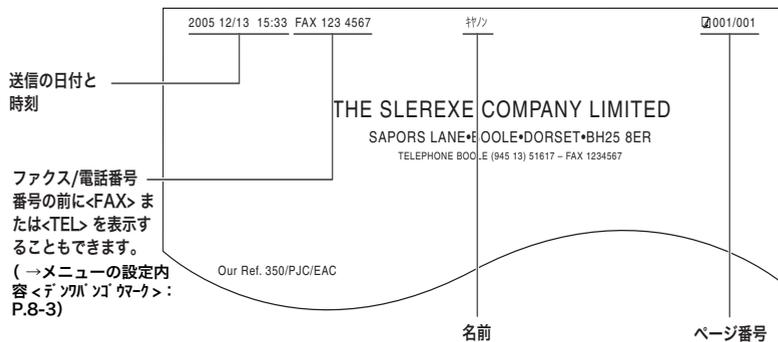
- 入力モードは [⁎] を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。
- スペースを入れたいときには [▶(+)] を押します。
- カーソルは [◀(-)][▶(+)] を押すと移動させることができます。
- 同じキーの文字を続けて入力するときは、[(+)] を押してカーソルを右へ移動します。
- 入力を間違えたときは、[◀(-)][▶(+)] と [クリア] を使って間違えた文字を消去して入力し直します。
- [クリア] を長く押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
- 登録できる名称の文字種や文字数は設定する内容によって異なります。

3 すべての文字を入力したあと、[OK] を押します。

発信元の情報を登録する

相手先の記録紙に印字される発信元の情報（電話番号や発信者名、日付 / 時刻など）を登録します。

発信元情報とは

発信元情報は、以下のように相手先の記録紙上部にプリントされます。

メモ　発信元情報のプリント位置は、読み取り可能範囲の内側 / 外側のどちらにも設定可能です。(→メニューの設定内容 <ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ>：P.8-3)

日付 / 時刻を登録する

メモ　ユーザ データ リストをプリントすれば、現在の設定を確認することができます。(→ユーザ データリストをプリントする：P.6-7)

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾋｽﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **テンキーを使って日付 (年 / 月 / 日) と時刻 (24 時間制) を入力し、[OK] を押します。**

```
ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
'05 12/13 11:01
```
→
```
ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ
 2.ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ﾀｲﾌﾟ
```

年は最後の 2 桁だけ入力します。

5 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

発信元番号と発信者名を登録する

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して < ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ > を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾃﾞﾝﾜ ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ>を選択し、[OK] を押します。**

6 **テンキーを使ってファクス / 電話番号を入力し(スペースを含めて 20 桁まで)、[OK] を押します。**

ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ 123xxxxxxx	→	ﾃﾞﾝﾜ ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ 2.ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ

数字の前にプラス記号（+）を入力するには、[#] を押します。

直前に入力した数字を削除するには、[クリア] を押します。[クリア] を押しつづけると、入力した内容がすべて削除されます。

7 **[メニュー] を押します。**

8 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ>を選択し、[OK] を押します。**

9 **テンキーを使って名前を入力し (スペースを含めて 24 文字まで)、[OK] を押します。**

ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ :ｱ ｷﾔﾉﾝ	→	ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ 3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ

10 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

電話回線の種類を設定する

本製品を使用する前に、電話回線の種類が正しく設定されていることを確認してください。電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

メモ　ユーザデータリストをプリントすれば、現在の設定を確認することができます。（→ユーザ データリストをプリントする：P.6-7）

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾃﾞﾝﾜ ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ> を選択し、[OK] を押します。**

6 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して電話回線の種類を選択し、[OK] を押します。**

以下の回線種類を選択することができます。

・プッシュ回線（PB 回線）の場合は <ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ>
・アナログ回線（DP 回線）の場合は <ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ>
　<ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ> を選択した場合は、回線速度を <20PPS> か <10PPS> から選択できます。

7 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

ダイヤル登録機能

3
CHAPTER

ここでは、相手先の名前と番号を 1 つまたは 2 つのキーの登録することで、簡単にダイヤルする方法について説明します。

ダイヤル登録の種類

ダイヤル登録をすると、少ないキーの操作でファクス / 電話番号をダイヤルできます。

ダイヤル登録には以下の種類があります。

■ ワンタッチ ダイヤル

ワンタッチダイヤルにファクス / 電話番号を登録すると、ワンタッチダイヤルキーを押すだけで登録した相手先にダイヤルできます。（→ワンタッチ ダイヤルを登録する：P.3-1）

■ 短縮 ダイヤル

短縮ダイヤルにファクス / 電話番号を登録すると、[短縮] と 2 桁の短縮番号を押すだけで登録した相手先にダイヤルできます。（→短縮ダイヤルを登録する：P.3-3）

■ グループ ダイヤル

あらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをグループダイヤルとして登録しておき、そのグループのワンタッチダイヤルキーまたは [短縮] と短縮番号を押して、グループすべての番号に原稿を送信します。（→グループ ダイヤルを登録する：P.3-5）

メモ　登録後は、すべてのファクス / 電話番号のリストをプリントし、保管しておくことをおすすめします。（→ダイヤルリストをプリントする：P.3-7）

ワンタッチ ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルを使用するには、あらかじめ相手先のファクス / 電話番号を登録する必要があります。（→ワンタッチ ダイヤル：P.4-6）

ワンタッチダイヤルキーは、グループダイヤル番号を含めて 12 件まで登録することができます。

メモ
- ワンタッチ ダイヤル キーそれぞれに複数のファクス / 電話番号を登録することもできます。（→グループ ダイヤルを登録する：P.3-5）

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｱﾃｻｷ ﾄｳﾛｸ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押してワンタッチ ダイヤル キー(01 ～ 12)を選択します。[OK] を 2 回押します。**

ワンタッチ ダイヤル キーを押すことによってキーを選択することもできます。

5 **テンキーを使って登録するファクス / 電話番号を入力し(スペースとポーズを含めて 120 桁まで)、[OK] を 2 回押します。**

6 **テンキーを使って登録する名前を入力し（スペースを含めて 16 文字まで)、[OK] を押します。**

ワンタッチダイヤル キーの登録を続けるには、手順 4 から繰り返します。

7 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

メモ
ワンタッチダイヤルに相手先の名前を登録するには、本製品に登録してある宛先名を使用してください。

登録内容を変更 / 削除する

■ **番号を変更する**

「ワンタッチ ダイヤルを登録する」（→ P.3-1）の手順 1 〜 4 を行います。手順 5 で［クリア］を押し続けて番号全体を削除します。つづいてテンキーで新しい番号を入力し、[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　[◀ (-)] または [クリア] を数回押して登録した番号を削除することもできます。

■ **名前を変更する**

「ワンタッチ ダイヤルを登録する」（→ P.3-1）の手順 1 〜 5 を行います。手順 6 で［クリア］を押して名前を削除します。つづいてテンキーで新しい名前を入力し、[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　[◀ (-)] または [クリア] を数回押して登録した名前を削除することもできます。

■ **登録を削除する**

「ワンタッチ ダイヤルを登録する」（→ P.3-1）の手順 1 〜 4 を行います。手順 5 で［クリア］を押し続けて番号を削除します。つづいて [OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ
- 登録した番号を削除すると、登録した名前は自動的にクリアされます。
- [◀ (-)] または [クリア] を数回押して登録した番号を削除することもできます。

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルを使用するには、あらかじめ相手先のファクス / 電話番号を登録する必要があります。（→短縮ダイヤル：P.4-5）

ファクス / 電話番号は 100 件まで登録することができます。

1　[メニュー] を押します。

2　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <ｱﾃｻｷ ﾄｳﾛｸ> を選択し、[OK] を押します。

3　[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ> を選択し、[OK] を押します。

4 [◀(-)] または [▶(+)] を押して短縮ダイヤル番号（00 ～ 99）を選択し、[OK] を 2 回押します。

[短縮] を押して、テンキーで 2 桁の短縮番号を入力しても選択できます。

5 テンキーを使って登録するファクス / 電話番号を入力し（スペースとポーズを含めて 120 桁まで）、[OK] を 2 回押します。

テ゛ンワハ゛ンコ゛ウ 149xxxxxxx	→	ナマエ :A _

6 テンキーを使って登録する名前を入力し（スペースを含めて 16 文字まで）、[OK] を押します。

短縮ダイヤルの登録を続けるには、手順 4 から手順を繰り返します。

7 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

登録内容を変更 / 削除する

■ 番号を変更する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-3）の手順 1 ～ 4 を行います。手順 5 で、[クリア] を押して番号を削除します。つづいてテンキーで新しい番号を入力し、[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　[◀(-)] または [クリア] を数回押して登録した番号を削除することもできます。

■ 名前を変更する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-3）の手順 1 ～ 5 を行います。手順 6 で、[クリア] を押して名前を削除します。つづいてテンキーで新しい名前を入力し、[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　[◀(-)] または [クリア] を数回押して登録した名前を削除することもできます。

■ 登録を削除する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-3）の手順 1 ～ 4 を行います。手順 5 で、[クリア] を押して番号を削除します。つづいて [OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ
- 登録した番号を削除すると、登録した名前は自動的にクリアされます。
- [◀ (-)] または [クリア] を数回押して登録した番号を削除することもできます。

グループ ダイヤルを登録する

グループダイヤル（→グループダイヤル：P.4-7）を使用するには受信者のファクス / 電話番号を登録しておく必要があります。

グループダイヤルは、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルと合わせて、最大 111 件まで登録できます。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを登録すると、その分登録できるグループダイヤル数は減ります。

メモ
- 入力できるファクス/電話番号は、あらかじめ登録されたワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルの番号だけです。登録方法は以下を参照してください。
  - ・ワンタッチ ダイヤルを登録する（→ P.3-1）
  - ・短縮ダイヤルを登録する（→ P.3-3）
- 数字の入力にテンキーを使用することはできません。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <ｱﾃｻｷ ﾄｳﾛｸ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して <ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **グループ ダイヤルとして設定する、空いているワンタッチ ダイヤル キーまたは短縮ダイヤル番号を指定します。**

● **ワンタッチ ダイヤル キーでグループを登録するには**

❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押してワンタッチ ダイヤル キー(01 ～ 12)を選択し、[OK] を 2 回押します。

登録したいキーを直接押して選択することもできます。

● **短縮ダイヤル番号でグループを登録するには**

❑ [短縮] を押し、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力してから、[OK] を 2 回押します。

5 グループに登録するワンタッチダイヤル番号 / 短縮ダイヤル番号を選択し、[OK] を 2 回押します。

ワンタッチ ダイヤル キーに登録されている番号をグループに登録するには、目的のワンタッチ ダイヤル キーを押します。

短縮ダイヤルに登録されている番号をグループに登録するには、[短縮] を押し、テンキーを使って 2 桁の短縮番号を入力します。複数の短縮番号を登録するときは、それぞれの短縮番号の前に [短縮] を押します。

メモ　入力した番号を確認するには、[◀(-)] または [▶(+)] を押します。

6 テンキーを使ってグループの名前を入力し(スペースを含めて 16 文字まで)、[OK] を押します。

```
ナマエ               :1      →   ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷﾔﾉﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ 2_              [02] ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
```

他のグループも登録するには、手順 4 から繰り返します。

ここで入力した名前は、ダイヤル登録リストに表示されます。

7 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

登録内容を変更 / 削除する

■ グループからファクス / 電話番号を削除する

「グループ ダイヤルを登録する」(→ P.3-5) の手順 1 ～ 4 を行います。手順 5 で、[◀(-)] または [▶(+)] を押して削除する番号を表示し、[クリア] を押します。[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

■ グループにファクス / 電話番号を追加する

「グループ ダイヤルを登録する」(→ P.3-5) の手順 1 ～ 4 を行います。手順 5 で、説明に従って追加する番号を入力します。

■ グループごと削除する

「グループ ダイヤルを登録する」(→ P.3-5) の手順 1 ～ 4 を行います。手順 5 で、すべての番号が削除されるまで [クリア] を押したままにし、[OK] を押してから [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　すべての番号を削除すると、登録したグループ名は自動的にクリアされます。

ダイヤルリストをプリントする

ダイヤル登録した相手先のリストをプリントすることができます。リストは、ダイヤルするとき参照できるように、本製品の近くに保存しておくことをおすすめします。

1 **[メニュー]を押します。**

2 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して<ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ>を選択し、[OK]を押します。**

3 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して<ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ>を選択し、[OK]を押します。**

4 **[◀(-)]または[▶(+)]を押してプリントするリストを選択し、[OK]を押します。**

以下のリストを選択することができます。

・<ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ>

・<ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ>

・<ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ>

リストの例を以下に示します。

■ ワンタッチダイヤルリスト

2005 12/13 10:32 FAX 033333333 ｷﾔﾉﾝ 001

```
************************
***   ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ   ***
************************
```

番号	相手先ｱﾄﾞﾚｽ	相手先略称
[01]	0312343333	エイギョウ
[02]	0312342222	カイハツ2
[03]	0488123456	サイタマ シテン
[04]	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ	シテンAグループ

■ 短縮ダイヤルリスト

2005 12/13 10:47 FAX 0333333333 ｷﾔﾉﾝ 001

```
***********************
***   短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ   ***
***********************
```

番号	相手先ｱﾄﾞﾚｽ	相手先略称
[* 01]	0488123456	ｻｲﾀﾏ
[* 02]	0521234567	ﾄｳｶｲ
[* 03]	0762123456	ﾎｸﾘｸ
[* 04]	0111234567	ﾎｯｶｲﾄﾞｳ

■ グループダイヤルリスト

```
2005 12/13  17:00  FAX  0333333333          ｷﾔﾉﾝ                               001

                          ************************
                          ***    ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ    ***
                          ************************

[    07] ｷﾔﾉﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ A          [    01] 0112341111              ﾎｯｶｲﾄﾞｳ
                              [    02] 0312341111              ｶｲﾊﾂ

[    08] ｺｸﾅｲｸﾞﾙｰﾌﾟ A          [    03] 0312342222              ｶｲﾊﾂ
                              [    04] 0312343333              ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ
```

4
CHAPTER

送信するには

ここでは、ファクスを送信する方法について説明します。また、スキャンの設定を調節して画質を良くする方法についても説明します。

送信方法

ファクスの送信には 2 つの方法があります。

- メモリ送信
- 手動送信

メモ
- コンピュータから文書をファクスすることもできます。ファクス送信ソフトウェアをインストールする場合は、以下を参照してください。
  - ・「セットアップシート」の「ソフトウェアのインストール」(MF5750 のみ)、「セットアップシート(ネットワーク・プリンタ機能設定編)」の「本製品をローカルプリンタとして使用する(USB 接続)」または「本製品をネットワークプリンタとして使用する(ネットワーク接続)」(MF5770 のみ)
  - ・「ソフトウェアガイド」の「1 章　インストールする」
- コンピュータからのファクス送信について詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「4 章　コンピュータからファクス送信する(MF5750/MF5770 のみ)」を参照してください。

メモリ送信

原稿を効率的に送信するために、通常はメモリ送信の使用をお勧めします。

<ﾒﾓﾘｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ> が表示されている場合、原稿の読み込みはできません。その場合は、メモリに蓄積されているファクスの送信が済むまで待ってから、再度原稿を読み込ませてください。

相手先番号の自動リダイヤル待機中、次に送信するファクスをセットできます。自動リダイヤルの設定方法について詳しくは、(→自動リダイヤル：P.4-8)を参照してください。最大 20 件のファクス送信を蓄積できます。

メモ
相手先の番号の自動リダイヤルを待っている間、新しいファクス ジョブを登録することができます。自動リダイヤルの設定方法について詳しくは、「自動リダイヤル」(→ P.4-8)を参照してください。メモリに保存できるファクス ジョブは 20 件までです。相手側のファクスが Canon Satera MF5700 シリーズで、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合、メモリに蓄積できる最大のページ数は送信側のファクスによって異なります。

1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

ファクスで送信できる文書の種類、要件、文書のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド」の「3 章　原稿の取り扱い」を参照してください。

2 文書の設定を調整します。

・[画質] を押してファクスの解像度を選択します。（→画質を変更する（ファクス解像度）：P.4-4）
・[濃度] を押してスキャン濃度を選択します。（→濃度（スキャン濃度）を調節する：P.4-4）

3 相手先のファクス / 電話番号を入力します。

ダイヤル方法について詳しくは、「ダイヤル方法」（→ P.4-5）を参照してください。

4 [スタート] を押します。

ADF に原稿をセットした場合は、自動的にファクスが送信されます。

原稿台ガラスを使用している場合、読み取りが終了するとディスプレイに原稿を取り替えるよう表示が出ます。次のページをセットし（複数ページの原稿の場合）、[スタート] を押します。送信を開始するには、すべての原稿が読み込まれてから [OK] を押します。

メモ　メモリ送信をキャンセルするには、[ストップ / リセット] を押します。
送信は、[システム モニタ] でもキャンセルすることができます。（→ユーザーズガイド「7 章　システムモニタ」）

手動送信

手動送信は、文書を送る前に相手と話をしたいとき、または相手が自動受信の可能なファクスを持っていない場合に行います。

メモ
- 文書を送る前に相手と話をしたい場合には、本製品に電話を接続する必要があります。
- 手動送信の場合、原稿台ガラスは使用できません。

1 文書を送る前に相手と話をしたい場合には、本製品に電話を接続します。

本製品に電話を接続する方法について詳しくは、「セットアップシート」の「電話回線を接続する」（MF5750 のみ）、「セットアップシート（本体設置編）」の「電話回線に接続する」（MF5770 のみ）を参照してください。

2 文書を ADF にセットし、[ファクス] を押します。

ファクスで送信できる文書の種類、要件、文書のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド」の「3 章　原稿の取り扱い」を参照してください。

3 文書の設定を調整します。

・[画質] を押してファクスの解像度を選択します。(→画質を変更する（ファクス解像度）: P.4-4)
・[濃度] を押してスキャン濃度を選択します。(→濃度（スキャン濃度）を調節する : P.4-4)

4 [オンフック] を押すか、電話の受話器を取りあげます。

5 相手先のファクス / 電話番号を入力します。

ダイヤル方法について詳しくは、「ダイヤル方法」（→ P.4-5）を参照してください。

6 受話器で相手と話をします。

手順４で［オンフック］を押したときは、受話器を上げないと相手の声が聞こえません。

相手の声でなく「ピー」という音が聞こえるときは、手順８に進んでください。

7 ファクスの受信準備をするように相手に伝えます。

8 「ピー」という音が聞こえたら [スタート] を押し、受話器を置きます。

メモ

- 手動送信をキャンセルするには、[システム モニタ] を押します。(→ユーザーズガイド「７章　システムモニタ」)
- オフフックアラームが鳴った場合は、受話器が受け台に正しく置かれているか確認してください。オフフックアラームを鳴らさないように設定することができます。(→メニューの設定内容 < ｵﾌﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ > : P.8-3)

画質を調節する

ファクスで送信する原稿の画質を向上させるための設定を説明します

画質を変更する（ファクス解像度）

送信する原稿の画質（ファクス解像度）を変更することができます。画質が高いほど相手が受け取る画像は高品質になりますが、通信時間も長くかかります。送信する原稿の内容に合わせて画質を変更してください。

1 **[画質] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] か、[画質] を押して解像度を選択し、[OK] を押します。**

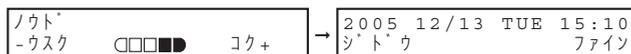
以下の解像度を選択することができます。

・<ﾋｮｳｼﾞｭﾝ> - テキストだけのほとんどの文書に対応
・<ﾌｧｲﾝ> - プリント状態の良い文書用
・<ｼｬｼﾝ> - 写真を含む文書用
・<ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ> - プリント状態が良く、イメージを含む文書用（解像度は <ﾋｮｳｼﾞｭﾝ> の 4 倍）
・<ｳﾙﾄﾗﾌｧｲﾝ> - プリント状態が良く、イメージを含む文書用（解像度は <ﾋｮｳｼﾞｭﾝ> の 8 倍）

濃度（スキャン濃度）を調節する

濃度とは、イメージの明るい部分と暗い部分の差の程度を指します。

1 **[濃度] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して濃度を選択し、[OK] を押します。**

以下の濃度を選択することができます。

・標準の文書の場合は、中間に設定します。
・薄い文書の場合は、[▶(+)] を押して濃くします
・濃い文書の場合は、[◀(-)] を押して薄くします

ダイヤル方法

相手先のファクス / 電話番号のダイヤル方法には以下の種類があります。

■ ファクス / 電話番号が登録されていない場合

- 通常のダイヤル
- リダイヤル

■ ファクス / 電話番号が登録されている場合

- ワンタッチ ダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループ ダイヤル
- 電話帳からのダイヤル

メモ
- 登録されているファクス / 電話番号がわからない場合は、リストをプリントして番号をチェックしてください。（→ダイヤルリストをプリントする：P.3-7）
- ダイヤル登録でファクス/電話番号を登録する方法については、「3章　ダイヤル登録機能」を参照してください。
- ダイヤルするときは、ファクス モードに設定する必要があります。

通常のダイヤル

電話機でダイヤルするのと同様に、操作パネルのテンキーで相手先のファクス / 電話番号を入力します。

1 テンキーでファクス / 電話番号を入力します。

メモ
間違った番号を押した場合は、[◀ (-)] または [クリア] を押して最後の数字を削除します。[クリア] を押したままにすると、数字をすべて削除できます。

2 [スタート] を押します。

ワンタッチ ダイヤル

1 目的のワンタッチ ダイヤル キー（01 ～ 12）を押します。

そのワンタッチ ダイヤル キーで登録されている番号が表示されます。

押したワンタッチ ダイヤル キーにファクス / 電話番号が割り当てられていない場合、<ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ> が表示されます。

メモ　間違ったキーを押した場合は、[ストップ / リセット] を押します。

2 [スタート] を押します。

短縮ダイヤル

1 [短縮] を押し、テンキーで目的の 2 桁の番号(00 ～ 99)を入力します。

その短縮ダイヤルで登録されている番号が表示されます。

入力した短縮ダイヤル番号にファクス/電話番号が割り当てられていない場合、<ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ> が表示されます。

メモ　間違った番号を入力した場合は、[ストップ / リセット] を押します。

2 [スタート] を押します。

グループダイヤル

1 目的のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 12）を押すか、[短縮] とグループを示す 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

グループの名前が表示されます。

押したワンタッチ ダイヤル キーにファクス / 電話番号が割り当てられていない場合、<ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ> が表示されます。

メモ
- 間違ったキーを押した場合は、[ストップ / リセット] を押します。
- 未登録のファクス／電話番号を直接グループに登録することはできません。

2 [スタート] を押します。

電話帳からのダイヤル

電話帳からのダイヤルを利用すると、登録した相手先の名前からダイヤルする番号を検索できます。相手先の名前が分かっていて、番号が登録されているワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号やグループダイヤルのどこの登録したのかを思い出せないときに便利です。

1 [電話帳] を押します。

番号が登録されていない場合は <ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ> が表示され、ディスプレイはダイヤル入力モードに戻ります。

2 テンキーを押して検索する相手先の名前の最初の文字を入力し、[OK] を押します。

例えば、" チ " で始まる名前を検索する場合は、[4]（ﾀ GHI）を 2 回押します。

入力した文字で始まる項目が表示されます。

入力した文字で始まる項目がない場合、入力した文字は、ダイヤル入力されません。
テンキーで相手先のファクス／電話番号を入力する（→通常のダイヤル：P.4-5）かファクス／電話番号を登録してください。（→「3 章　ダイヤル登録機能」）

● **登録名を確認するには**

❑ **[▶(+)] を押すと、相手先の名前が五十音順に表示されます。**

❑ **[◀(-)] を押すと、逆順に表示されます。**

最後の名前まで進むと、最初の名前に戻ります。

3　目的のダイヤルが表示されたら [OK] を押します。

相手先のファクス番号と名前、またはグループダイヤル番号とグループ名が表示されます。

4　[スタート] を押します。

リダイヤル

リダイヤルの方法は 2 つあります。

- 手動リダイヤル
- 自動リダイヤル

手動リダイヤル

[リダイヤル/ポーズ]を押すと、テンキーで最後にかけた番号にもう一度ダイヤルできます。

メモ
- 手動リダイヤルをキャンセルするには、[ストップ / リセット] を押します。
- 最後にテンキーを使ってかけた番号は、電源コードを抜き差しすると、消去されます。

自動リダイヤル

メモリ送信で文書を送るとき、送信先のファクスが通話中の場合に、一定の間隔を置いて自動的にダイヤルし直すことができます。

自動リダイヤルの設定は、必要に応じて変更することができます。（→自動リダイヤルを設定する：P.4-8）

メモ
自動リダイヤルをキャンセルするには、リダイヤルが開始されるまで待ち、[ストップ / リセット] を押してディスプレイの指示に従います。
自動リダイヤルは、[システム モニタ] でもキャンセルすることができます。(→ユーザーズガイド「7 章　システムモニタ」)

■自動リダイヤルを設定する

以下の設定を変更することができます。

・自動リダイヤルの可否
・リダイヤルの回数
・リダイヤルの間隔

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ> を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀(-)] または [▶(+)] を押し、<ｽﾙ> を選択して自動リダイヤルをオンにするか、<ｼﾅｲ> を選択してオフにします。**

● **<ｼﾅｲ> を選択した場合**

❑ [OK] を押します。

● **<ｽﾙ> を選択した場合**

❑ [OK] を 2 回押します。

❑ [◀(-)] または [▶(+)] を押すか、テンキーを使ってリダイヤルの回数を入力し、[OK] を 2 回押します。

リダイヤルは 1 〜 10 回の範囲で設定することができます。

❑ [◀(-)] または [▶(+)] を押すか、テンキーでリダイヤルの間隔を入力し、[OK] を押します。

間隔は 2 〜 99 分の範囲で設定することができます。

6 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

同報送信

1 回の操作で、最大 113 箇所の相手に同じ原稿を送信できます。この機能を同報送信と呼びます。

メモ　文書を同じ相手先グループに送ることが多い場合、番号をグループ ダイヤルにまとめることができます。
これにより、少ないキー操作でグループのすべての相手先に文書を送ることができます。

1　原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

文書のセット方法について詳しくは、「ユーザーズガイド」の「3 章　原稿の取り扱い」を参照してください。

2　文書の設定を調節します。

・[画質] を押してファクスの解像度を選択します。（→画質を変更する（ファクス解像度）：P.4-4）
・[濃度] を押してスキャン濃度を選択します。（→濃度（スキャン濃度）を調節する：P.4-4）

3　相手先のファクス / 電話番号を入力します。

● ワンタッチ ダイヤルの場合

❑ ワンタッチ ダイヤル キーを押します。ダイヤルできる宛先は最大 12 件です。

● 短縮ダイヤルの場合

❑ [短縮] を押し、テンキーを使って 2 桁の番号を入力します。ダイヤルできる宛先は最大 100 件です。

メモ　必要に応じて、前記の手順を繰り返して他の番号を入力します。

● 通常のダイヤルの場合

❑ テンキーを使ってファクス / 電話番号を入力し、[OK] を押します。ダイヤルできる宛先は 1 件です。

[リダイヤル / ポーズ] を押して、テンキーで最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

● 電話帳からのダイヤルの場合

❑ [電話帳] を押します。

❑ 宛先の最初の文字を含むテンキーを押し、[OK] を押します。

❑ [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して名前をスクロールし、目的の宛先を見つけます。[OK] を押します。

メモ

- ひとつめのワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号を入力してから次の番号を入力するまでに 5 秒以上間隔を置くと、本製品は自動的にファクス送信を開始してしまいますが、複数の番号を入力すると送信開始までの時間は 10 秒になります。自動送信させたくないときは<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>の<ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ>にある<ﾀﾞｲﾔﾙﾀｲﾑｱｳﾄ>を変更する必要があります。(→メニューの設定内容 <ﾀﾞｲﾔﾙﾀｲﾑｱｳﾄ> : P.8-4)
- 入力した番号を確認するには、[◀(-)] または [▶(+)] を押します。

4 宛先をすべて指定した後、[スタート] を押します。

原稿台ガラスを使う場合、読み込みが終了するとディスプレイにメッセージが表示されます。次のページをセットし（ページが複数ある場合）、[スタート] を押します。送信を開始するには [OK] を押します。

メモ

- どのような順番で入力しても、テンキーから入力した番号、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの順でダイヤルされます。
- 一度に 1 回の同報送信しか行うことはできません。
- 送信をキャンセルするには、[ストップ / リセット] を押し、ディスプレイの指示に従います。[ストップ / リセット] を押すと、すべての相手先への送信がキャンセルされます。相手先が 1 件の場合、送信をキャンセルすることはできません。（→ユーザーズガイド「7 章　システムモニタ」）

特殊なダイヤル

ここでは、海外にダイヤルするときや、一時的にトーン発信へ切り替えるときなど、特殊なダイヤル方法について説明します。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

相手先が海外の場合、ファクス / 電話番号にポーズを含める必要がある場合があります。

メモ

手動送信後にポーズをいれることはできません。

1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

本製品で送信できる文書の種類、要件、文書のセットのしかたについて詳しくは、「ユーザーズガイド」の「3 章 原稿の取り扱い」を参照してください。

2 文書の設定を調節します。

・[画質] を押してファクスの解像度を選択します。（→画質を変更する（ファクス解像度）: P.4-4）

・[濃度] を押してスキャン濃度を選択します。（→濃度（スキャン濃度）を調節する : P.4-4）

3 テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号について詳しくは、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

メモ 間違った番号を押した場合は、[◀ (-)] または [クリア] を押して最後の数字を削除します。あるいは、[クリア] を押しつづけて、数字をすべて削除します。

4 必要に応じて [リダイヤル / ポーズ] を押し、2 秒のポーズ(P)を入力します。

```
TEL=0P
```

ポーズを長くするには、[リダイヤル / ポーズ] をもう一度押して 2 秒のポーズを追加します。ポーズの長さを変更することもできます。(→メニューの設定内容 <ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ>：P.8-4)

5 テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス / 電話番号を入力します。

メモ
- 間違った番号を押した場合は、[ストップ / リセット] を押し、手順 3 から繰り返します。
- ミスをした場合は、[◀ (-)] または [クリア] を押して最後の数字を削除します。あるいは、[クリア] を押しつづけて、数字をすべて削除します。

6 [スタート] を押します。

メモ
- 番号のダイヤルが開始された後に送信をキャンセルするには、[ストップ / リセット] を押し、ディスプレイの指示に従います。
- ダイヤル登録機能を活用するには、頻繁に使用する外国の番号をワンタッチ　ダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。(→「3 章　ダイヤル登録機能」)

一時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、トーン回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

1 **[ファクス] を押します。**

2 **[オンフック] を押すか、電話の受話器を取りあげます。**

メモ　電話を使うときは、本製品に接続する必要があります。（→セットアップ シート「電話回線を接続する」（MF5750 のみ）、セットアップシート（本体設置編）「電話回線に接続する」（MF5770 のみ））

3 **電話機のテンキー、または本製品のワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、[リダイヤル / ポーズ]、テンキーで、相手先のファクス / 電話番号を入力します。**

4 **情報サービスの録音メッセージが応答したら、[⁎] を押してトーン ダイヤルに切り替えます。**

[⁎] を押すと、ディスプレイに <T> が表示されます。

電話回線がトーン ダイヤルの場合は、次の手順に進んでください。

5 **本製品のテンキーを使って、情報サービスの番号を入力します。**

[⁎] を押した後に入力した番号が、トーン ダイヤルでダイヤルされます。

6 **ファクスを受信する場合は、[スタート] を押します。**

7 **[オンフック] を押すか受話器をもとに戻して通信を終わります。**

トーン ダイヤルは、通信を終了するとキャンセルされます。

メモ　オフフック アラームが鳴った場合、受話器が受け台に正しく置かれているか確認してください。オフフック アラームはオフにすることができます。
(→メニューの設定内容 < ｵﾌﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ > : P.8-3)

受信するには

5
CHAPTER

ここでは、ファクスを受信する方法について説明します。また、受信モードを設定する方法、受信中の文書をキャンセルする方法についても説明します。

受信モードを設定する

以下の手順で受信モードを設定します。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｼﾞｭｼﾝﾓｰﾄﾞ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して受信モードを選択し、[OK] を押します。**

以下のモードを選択することができます。

- <ｼﾞﾄﾞｳ> - ファクスを自動的に受信し、電話の場合でも受信動作に移行した後に通信を切断します。（→自動で受信する：ｼﾞﾄﾞｳ：P.5-2）
- <FAX/TEL> - ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音を鳴らします。（→ファクスと電話を自動で切り替える：FAX/TEL：P.5-2）
- <ﾙｽ TEL> - ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は本製品に接続した留守番電話に転送します。（→留守番電話を接続して受信する：ﾙｽ TEL：P.5-4）
- <ｼｭﾄﾞｳ> - ファクス、電話いずれの場合も、本製品に接続した電話機の着信音が鳴ります。ファクスの場合は、手動でファクス受信を開始する必要があります。（→手動で受信する：ｼｭﾄﾞｳ：P.5-4）

メモ　メニューの <ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ> で <ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ> を <ｽﾙ> に設定すると、受信モードが <ｼｭﾄﾞｳ> に設定されていても、ファクスは自動的に受信されます。(→メニューの設定内容 <ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ>：P.8-5)

5 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

メモ　受信した文書を印刷するときにトナーを節約できます。(→ユーザーズガイド「10 章 各種機能の登録／設定」)

自動で受信する：ｼﾞﾄﾞｩ

<ｼﾞﾄﾞｩ> を選択する場合は、以下を確認します。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- ファクス専用の電話回線がある
- ファクスは自動受信のみにする

■ 必要な作業

- <ｼﾞﾄﾞｩ> を設定します。(→受信モードを設定する：P.5-1)
- ファクスを専用電話回線に接続します。(→セットアップシート「電話回線を接続する」(MF5750 のみ)、セットアップシート（本体設置編）「電話回線に接続する」(MF5770 のみ))

■ ファクスが着信すると

ファクスを自動的に受信します。

■ 電話が着信すると

応答することはできません。

メモ
- 本製品に電話機を接続していて、<ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ> を有効にしている場合、電話機の着信音が鳴ります。そのとき応答することができます。
- 電話が鳴る回数を選択することができます。(→メニューの設定内容 <ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ>：P.8-5)

ファクスと電話を自動で切り替える：FAX/TEL

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- ファクスと電話を 1 本の回線で共用している
- 電話だけでなく、ファクスも自動で受信したい

■ 必要な作業

- <FAX/TEL> を設定します。(→受信モードを設定する：P.5-1)
- 本製品に電話を接続します。(→セットアップシート「電話回線を接続する」(MF5750 のみ)、セットアップシート（本体設置編）「電話回線に接続する」(MF5770 のみ))

■ ファクスが着信すると

ファクスを自動的に受信します。

■ **電話が着信すると**

着信音が鳴ります。受話器を取りあげてお話ください。

詳細設定をする

ファクスや電話が着信したときの動作を細かく設定することができます。電話を受けてから着信音を鳴らすまでの時間や呼び出し音を鳴らしつづける時間、応答がないときの動作などを設定できます。

次の手順に従って <FAX/TEL> 受信モードの詳細設定をしてください。

メモ　特に必要がない場合は、工場出荷時（お買い上げ時）の状態でお使いください。設定によっては変更するとファクスの性能を妨げることがあります。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、<ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、<F/T ｼｮｳｻｲ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を２回押します。**

5 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、呼び出しを開始するまでの時間を０秒〜30 秒の間で選択し、[OK] を 2 回押します。**

6 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、<ﾖﾋﾞ ﾀﾞ ｼ ｼﾞ ｶﾝ>を15秒〜360秒の間で選択し、呼び出し音を鳴らす時間を選択して［OK］を 2 回押します。**

7 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して、<ﾖﾋﾞ ﾀﾞ ｼｺﾞ ﾉ ﾄﾞ ｳｻ> を選択し、手順６で設定した時間内に応答がないときの動作を選択して [OK] を押します。**

次の動作から選択できます。

- <ｼﾞｭｼﾝ>– 受信モードに切り替えます。
- <ｼｭｳﾘｮｳ>– 通話を切ります。

8 **[ストップ / リセット] を押して、待受画面に戻ります。**

留守番電話を接続して受信する：ﾙｽ TEL

<ﾙｽ TEL> を選択する場合は、以下を確認します。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- 電話回線は 1 本のみで、ファクスと電話の両方に使用している
- ファクスを自動的に受信し、音声メッセージは留守録音にしたい

■ 必要な作業

- <ﾙｽ TEL> を設定します。（→受信モードを設定する：P.5-1）
- 留守番電話を本製品に接続します。（→セットアップシート「電話回線を接続する」（MF5750 のみ）、セットアップシート（本体設置編）「電話回線に接続する」（MF5770 のみ）

メモ　留守番電話を以下のように設定してください。
- 留守番電話を、1 回目か 2 回目の着信音で応答するように設定します。
- メッセージは 15 秒までです。
- メッセージの中で、ファクスの送り方を伝えます。

■ ファクスが着信すると

ファクスを自動的に受信します。

■ 電話が着信すると

留守番電話で用件を録音します。

手動で受信する：ｼｭﾄﾞｳ

<ｼｭﾄﾞｳ> を選択する場合は、以下を確認します。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- 電話回線は 1 本のみで、ファクスと電話の両方に使用している
- おもな用途は電話で、時々ファクスを受信する

■ 必要な作業

- <ｼｭﾄﾞｳ> を設定します。（→受信モードを設定する：P.5-1）
- 電話を本製品に接続します。（→セットアップシート「電話回線を接続する」（MF5750 のみ）、セットアップシート（本体設置編）「電話回線に接続する」（MF5770 のみ））
- 電話から文書を受信する場合、<ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ>メニューの<ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ> が有効になっているか確認します。(→メニューの設定内容 <ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ>：P.8-6)

■ ファクスが着信すると

着信音が鳴ります。受話器を取り上げて、ビープ音が聞こえたら本製品の [スタート] を押して受信を開始するか、電話機から 2 桁の ID 番号を入力します。受話器を置きます。

メモ　オフフック アラームが鳴った場合、受話器が受け台に正しく置かれているか確認してください。オフフック アラームはオフにすることができます。
(→メニューの設定内容 < ｵﾝﾌｯｸ ｱﾗｰﾑ >：P.8-3)

■ 電話が着信すると

着信音が鳴ります。受話器を取り上げて応答します。相手が話の後に文書を送る場合は、相手にファクスのスタート キーを押すように伝えます。ビープ音が聞こえたら、ファクスの [スタート] を押してファクスを受信します。受話器を置きます。

メモ　ファクスか電話かにかかわらず、呼び出しのたびに着信音が鳴ります。着信音が指定回数鳴った後にファクスを自動的に受信したい場合は、<ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ> を有効にします。ファクスが受信される前の着信音の回数を指定することもできます。(→メニューの設定内容 <ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ>：P.8-5)

他の作業中に受信する

本製品は複数の処理を同時に行えるので、他の作業をしている間でも、ファクスを受信したり電話を受けたりすることができます。

- 特定の作業中にファクスを受信した場合は、ファクスはメモリに保存されます。作業終了後、すぐにファクスが自動的にプリントされます。ファクスが受信できるのは次の作業中です。
  - ・プリント
  - ・スキャン（スキャンモード）*
  - ・ファクス原稿の読みとり *
  - ・レポートやリストのプリント
  - ・コピー

  * 作業中でも、受信したファクスのプリントがすぐに開始されます。
- ファクスの送信中に他のファクスを受信することはできません。

問題が発生した場合にファクスをメモリで受信する

ファクス受信中に問題が発生した場合、本製品はプリントされていないページを自動的にメモリで受信します。ディスプレイには、<ﾀﾞｲｺｳｼﾞｭｼﾝｼﾏｼﾀ> と、問題を知らせるメッセージが表示されます。問題を解決すると、メモリに蓄積されたファクスが自動的にプリントされます。エラーメッセージと問題の解決方法の詳細については、「エラーコード」（→ P.7-4）を参照してください。

メモ
- 本体のメモリは、最大で 20 通または約 256 ページ分 * のデータを蓄積できます。
- 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

* 相手側のファクスが Canon Satera MF5700 シリーズで、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。

受信を中止する

受信中のファクスを中止する場合は、次の手順を実行します。

1 [ストップ / リセット] を押します。

確認メッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
 <  ハイ            イイエ  >
```

2 受信を中止する場合は、［◀ (-)］を押します。

受信し続ける場合は、［▶ (+)］を押して <イイエ> を選択します。

各種レポート / リストをプリントする

6
CHAPTER

ここでは、通信結果のレポートや本製品に登録した設定、相手先のリストをプリントする方法を説明します。

本製品でプリントできるレポート / リスト

本製品でプリントできるレポート / リストの一覧です。詳しくは、各ページを参照してください。

レポート / リスト	説明	詳細
ワンタッチダイヤルリスト	ワンタッチ ダイヤルに登録されたファクス / 電話番号、名前の一覧です。	P.3-7
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルに登録されたファクス / 電話番号、名前の一覧です。	P.3-7
グループダイヤルリスト	グループ ダイヤルで登録されたグループの一覧です。	P.3-8
通信管理レポート	本製品が最近送信または受信したファクスの通信結果を表示します。 通信回数が 20 回になるたびに自動的にプリントする設定が可能です。また、手動でプリントすることもできます。	P.6-2
送信結果レポート	文書の送信後にプリントします。 この機能を有効 / 無効にするか、またはエラーが発生したときのみレポートをプリントするように設定できます。	P.6-4
受信結果レポート	文書の受信後にプリントします。 この機能を有効 / 無効にするか、またはエラーが発生したときのみレポートをプリントするように設定できます。	P.6-6
ユーザデータリスト	本製品の現在の設定と登録された発信元情報を出力します。	P.6-7

メモ

- レポートプリントの機能に使用できる紙のサイズは、A4 とレターサイズです。レポートプリント機能に使用できるのはカセットの用紙のみです。
- レポートプリントを中止するには、[システム モニタ] を使います。(→ユーザーズガイド「7 章　システムモニタ」)

通信管理レポート

通信管理レポートをプリントする

本製品は、工場出荷時には通信回数が 20 回になるたびに通信管理レポートをプリントするように設定されています。

通信管理レポートの通信結果は、発生順に出力されます。

2005 12/13 15:16 FAX 03333XXXXXXX キヤノン 001

****
*** 通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

開始時刻	相手先	番号	通信モード	枚数	通信結果
*12/13 12:49	33231	5007	自動受信 ECM	1	OK 00'17
*12/13 12:55	33231	0007	自動受信 ECM	5	OK 01'25
12/13 13:35	33231	0008	送信 ECM	3	OK 00'51
12/13 13:36	33231	0009	送信 ECM	2	OK 00'34
12/13 13:37	33231	0010	送信 ECM	0	NG 00'00 0 STOP
12/13 12:49	33231	0012	送信	0	NG 00'00 0 #0018

メモ　手動で送られたファクスについては、送信先のファクス / 電話番号（相手先）は表示されません。

通信管理レポートを手動でプリントするには、以下のようにします。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ>を選択し、[OK] を2回押します。**

```
ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
 1.ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

通信管理レポートの設定を変更する

通信管理レポートを自動的にプリントしないように設定できます。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して<ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ>を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して設定を選択し、[OK] を押します。**

以下を選択することができます。

・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ>- 通信管理レポートの自動プリントをオンにします。
・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ>- 通信管理レポートの自動プリントをオフにします。

6 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

送信レポートの設定を変更する

原稿を送信したあとに、送信レポート（送信結果レポートまたはエラー送信レポート）をプリントすることができます。

原稿を送信するたび、またはエラーが発生したときのみのいずれかに設定可能です。さらに、レポートをプリントしないように設定することもできます。

工場出荷時には、送信レポートをエラーが発生したときにのみプリントするように設定されています。

送信結果レポート

2005 12/13 13:49 FAX 0333333333 ｷﾔﾉﾝ 001

****
*** 送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

次の送信は正しく終了しました

受付番号	0003
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0112341111
相手先略称	
開始時刻	12/13 13:48
通信時間	00'35
枚数	1
通信結果	OK

エラー送信レポート

2005 12/13 13:58 FAX 0311111111 ｷﾔﾉﾝ 001

****
*** ｴﾗｰ送信ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

次の送信はｴﾗｰ終了しました

受付番号	0003	
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0322222222	
相手先略称		
開始時刻	12/13 13:55	
通信時間	00'00	
枚数	0	
通信結果	NG	STOP

メモ

- 手動で送られたファクスについては、送信先のファクス / 電話番号（相手先アドレス）は表示されません。
- コンピュータからファクス送信した場合、送信結果レポートはプリントされません。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ｿｳｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ>を選択し、[OK] を押します。**

5 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して設定を選択し、[OK] を押します。**

以下を選択することができます。

・<ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ> - 送信エラーが発生したときのみレポートをプリントします。
・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ> - 文書を送るたびにレポートをプリントします。
・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ> - レポートのプリントを中止します。

● **<ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ> または <ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ> を選択した場合**

❑ ファクスの 1 ページ目をプリントするかどうかを設定することができます。
[◀(-)]または[▶(+)]を押して<ﾂｹﾅｲ>または<ﾂｹﾙ>を選択し、[OK]を押します。

・<ﾂｹﾅｲ>- ファクスの 1 ページ目はプリントしません。
・<ﾂｹﾙ>- ファクスの 1 ページ目をプリントします。

メモ
- 送信結果レポートの設定で送信原稿を<ﾂｹﾙ> に設定した場合でも、コンピュータからファクス送信した場合は送信原稿をプリントすることはできません。

6 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

受信結果レポートを設定する

原稿を受信したあとに、受信結果レポートをプリントすることができます。

原稿を受信するたび、またはエラーが発生したときのみのいずれかに設定可能です。さらに、レポートをプリントしないように設定することもできます。

本製品は、受信結果レポートをプリントしないように工場出荷時に設定されています。

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

3 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ> を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して <ｼﾞｭｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ> を選択し、[OK] を押します。**

5 [◀(-)] または [▶(+)] を押して設定を選択し、[OK] を押します。

以下を選択することができます。

・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ> - レポートのプリントを中止します。
・<ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ> - 受信エラーが発生したときのみレポートをプリントします。
・<ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ> - 文書を受信するたびにレポートをプリントします。

6 [ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。

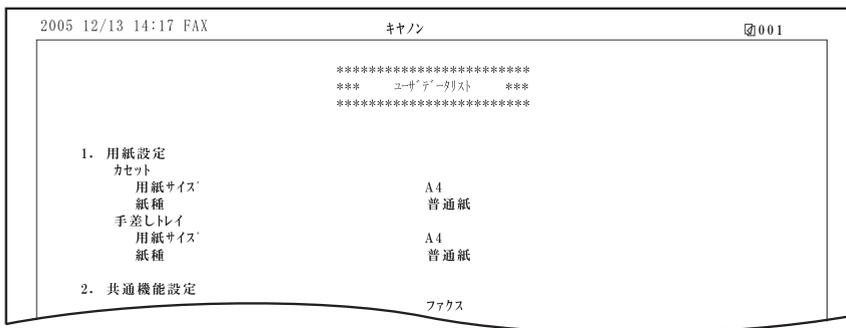
ユーザ データリストをプリントする

ユーザデータリストをプリントすると、本製品に登録された設定と発信元情報を確認できます。（→発信元の情報を登録する：P.2-6）

2005 12/13 14:17 FAX　キヤノン　001

****
***　ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ　***
****

1. 用紙設定
　ｶｾｯﾄ
　　用紙ｻｲｽﾞ　A4
　　紙種　普通紙
　手差しﾄﾚｲ
　　用紙ｻｲｽﾞ　A4
　　紙種　普通紙

2. 共通機能設定
　ﾌｧｸｽ

1 [メニュー] を押します。

2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ> を選択し、[OK] を押します。

3 [◀(-)] または [▶(+)] を押して <ﾕｰｻﾞ ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ> を選択し、[OK] を押します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ
  3.ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
```

困ったときには

本製品の操作中にトラブルが発生した場合の対処のしかたについて説明します。ご自分で解決できないときの対処法も記載されています。

ディスプレイの表示

何か問題が起こった場合には、ディスプレイ上に次のようなメッセージが表示されます。

この章では、ファクス機能に関係するメッセージについて説明します。その他のメッセージについては、「ユーザーズガイド」の「9 章　困ったときには」を参照してください。

ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾍﾝｺｳ

原　因　レポートまたはリストをプリントしようとしている場合に、用紙サイズ設定が <LTR> または <A4> 以外のサイズに設定されています。

処　置　用紙サイズ設定を <LTR> または <A4> に設定して、そのサイズの用紙をセットしてください。送信結果レポートまたは受信結果レポートの場合、メモリに保存されているレポートまたはリストを自動的にプリントします。

ｹﾞﾝｺｳｦﾃﾝｹﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原因 1　ADF に原稿がつまっています。

処　置　ADFから紙づまりを取り除きます。(→ ユーザーズガイド「9章　困ったときには」)
原稿が長すぎたり、短すぎたりしていないことを確認してください。(→ ユーザーズガイド「3 章　原稿の取り扱い」)

原因 2　原稿搬送ローラが、原稿を送らずに回転しています。

処　置　1 番目に搬送される原稿の先端をさばき、次にその他の原稿ページの先端を平らな面上で揃えてください。

ﾖｳｼﾉｻｲｽﾞ ｦﾁｪｯｸ

原　因　カセットまたはマルチフィーダの用紙サイズが、<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>の<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ>で指定した用紙サイズと異なっています。

処置１　正しい用紙をセットするか、または<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>メニューの<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ>を変更してください。詳細は、次を参照してください。

- 「ユーザーズガイド」の「2 章　用紙の取り扱い」
- 「ユーザーズガイド」の「5 章　コピーするには」

次に、フロントカバーを開け閉めして本製品をリセットしてください。

処置２　レポートまたはリストをプリントしようとしている場合、用紙サイズ設定を<LTR>または<A4>に設定し、そのサイズの用紙をセットしてください。次に、フロントカバーを開け閉めして本製品をリセットしてください。これで、レポートまたはリストは自動的にプリントされます。

ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾅｶﾞ ｽｷﾞ ﾏｽ

原　因　長さが 1m 以上の原稿をフィーダから送信しようとしました。

処　置　原稿の長さを 1m 以下に縮小して、送信しなおしてください。

ﾒﾓﾘｼﾖｳﾘｮｳ nn %

原　因　現在使用中のメモリの割合をパーセントで表示します。メッセージは、原稿をフィーダにセットしたときに表示されます。

処　置　もっとメモリ容量が必要な場合は、メモリ内にあるファクスが送信されるまでお待ちください。また、不必要な原稿がメモリ内にあれば、それをプリントするか削除します。

ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ

原因１　ファクスを送信または受信中にメモリがいっぱいになりました。

処　置　原稿をいくつかに分けて送信するか、低ファクス解像度を選択してください。
もっとメモリ容量が必要な場合は、残っているファクスが送信されるまでお待ちください。
ADF で原稿を読み込んでいるときに<ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ>が表示された場合、読み込み中の原稿は ADF 内で停止します。この場合は、ADF につまっている原稿を取り除いてください。(→ ユーザーズガイド「9 章　困ったときには」)

原因２　メモリに保存できるファクス数が最大に達しています。

処　置　本製品は送信ジョブ、受信ジョブをそれぞれ 20 件、または送受信ジョブを合計で 25 件まで保存できます。メモリ内にあるファクスが送信されるまでお待ちください。また、不必要な原稿がメモリ内にあれば、それをプリントするか削除してください。

ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞ ｽ

原　因　ワンタッチダイヤルキーまたは入力した短縮ダイヤル番号が登録されていません。

処　置　ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号を登録してください。詳しくは、次を参照してください。

- 「ワンタッチ ダイヤルを登録する」（→ P.3-1）
- 「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-3）

ﾀﾞ ｲｺｳｼﾞ ｭｼﾝｼﾏｼﾀ

原　因　トナーや用紙が切れた、用紙がつまった、または間違ったサイズの用紙をセットしたためメモリ代行受信しました。

処　置　正しいサイズの用紙をカセットにセットするか、カートリッジを交換するか、またはつまった用紙を取り除いてください。詳しくは、次を参照してください。

- 「ユーザーズガイド」の「2 章　用紙の取り扱い」
- 「ユーザーズガイド」の「8 章　日常のメンテナンス」
- 「ユーザーズガイド」の「9 章　困ったときには」

ﾃｻﾞ ｼﾉﾖｳｼｦｼﾞ ｮｷｮ

原　因　用紙がマルチフィーダにセットされています。

処　置　マルチフィーダから用紙を取り除いてください。
マルチフィーダに用紙がセットされているときに、ファクスを受信またはレポートやリストをプリントすると、それらはメモリに保存されます。

エラーコード

エラーの詳細説明をプリントする十分なスペースがないため、エラーレポートにはエラーコードが記録されます。レポートにエラーコードが記録された場合、エラーコードをメモし、次のリストで原因と処置方法を確認して的確に対処してください。

#0001

原　因　原稿がつまっている可能性がある。

処　置　つまっている原稿を取り除いてください。

#0003

原因 1　長さが 1m 以上の原稿を ADF から送ろうとした。

処　置　原稿を分割して原稿台ガラスから送信しなおしてください。

原因 2　データ量が大きすぎるため、1 枚の原稿を送信するのに時間がかかってしまいます。

処　置　読み取り時の解像度を下げて送信してください。

原因 3　1 枚の原稿を受信するのに時間がかかってしまいます。

処　置　通信相手に、読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分けて送信するように連絡してください。

#0005

原因 1　手動送信の際、相手先のファクスが 35 秒以内に応答しない。

処　置　もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、電話番号にポーズを入れてください。

原因 2　相手のファクスが G3 ファクスではない可能性がある。

処　置　相手に確認し、G3 ファクスに送ってください。相手が G3 ファクスを持っていない場合は、先方が対応できる通信モードを使って原稿を送信しなおしてください。

#0009

原　因　用紙がないか記録紙カセットが正しくセットされていない。

処　置　用紙を補給するか、あるいはカセットを正しくセットしなおしてください。

#0012

原　因　相手機の記録紙がなくなり、メモリもいっぱいのため送信できない。

処　置　相手に用紙を補給するよう連絡してください。

#0018

原　因　リダイヤルしても応答がない。または、相手が通話中などで 55 秒以内に応答がなかったため送信できない。

処　置　しばらく待ってからもう一度やりなおしてみてください。それでも送信できない場合は、相手にファクス機の電源が入っているかどうか確認してもらってください。相手が通話中の場合は、時間をおいてから送信しなおしてみてください。

#0022

原　因　短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルを使ってファクス送信操作をした場合、そのファクスジョブが待機中に、相手先の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録されたファクス / 電話番号を削除した。

処　置　待機中に相手先のファクス / 電話番号が削除されると、ファクス送信ができません。ファクス送信はエラーになり、エラー送信レポートが出力されます。ファクスを送りたいときは、送信操作をやり直してください。待機中のファクスジョブを取り消したいときは、［システムモニタ］を押して取り消してください。

#0037

原　因　メモリがいっぱいになっている。

処　置　メモリ代行受信などでメモリに記録された原稿をプリントしてください。

#0046

原　因　メニューの<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>の<ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ>で<DM ｾｲｹﾞﾝ>が<ｽﾙ>に設定されているときに、TSI 情報 (送信先識別) を持たないファクスが送られた。

処　置　<DM ｾｲｹﾞﾝ>が<ｽﾙ>に設定されていると、TSI 情報 (送信先識別) を持たないファクス機からの送信は受信できません。TSI 情報 (送信先識別) を持たないファクス機からの送信も受信したいときは <DM ｾｲｹﾞﾝ> を <ｼﾅｲ> に設定してください。お買い求め時は <ｼﾅｲ> に設定されています。

メモ　<DM ｾｲｹﾞﾝ> が設定されていると、送信元ファクスより TSI 情報 (送信先識別) がない状態でファクス送信された場合にエラー (#0046) 終了します。

#0995

原　因　通信予約のクリア操作が行われた。

処　置　必要に応じてファクスを再送信してください。

ファクスのトラブル

送信時のトラブル

ダイヤルしても送信できない

原因 1　本製品が過熱していませんか？

処　置　電源コードを抜き 3 ～ 5 分間放置して冷やしてください。電源コードを差し込み、もう一度送信してみてください。

原因 2　電源コードをたった今差し込んだばかりですか？

処　置　しばらくお待ちください。電源コードを差し込んだ後、ただちに原稿を読み込むことはできません。

原因 3　電話回線の種類 (ダイヤル / プッシュ) が正しく設定されていますか？

処　置　電話回線の種類を確認し、正しく設定してください。(→電話回線の種類を設定する：P.2-9)

原因 4　原稿が正しくセットされていますか？

処　置　いったん原稿を取り出して揃えなおし、原稿台またはフィーダに正しくセットしてください。(→ ユーザーズガイド「3 章　原稿の取り扱い」)

原因 5　ワンタッチダイヤルキーまたは入力した短縮ダイヤル番号が登録されていますか？

処　置　ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号が正しく登録されているかどうか確認してください。(→ダイヤル登録機能：P.3-1)

原因 6　電話番号は正しくダイヤルしましたか？　間違った番号を教えてもらっていませんか？

処　置　もう一度かけなおすか、番号が正しいかどうか確認してください。

原因 7　節電モードがオフになっていますか？

処　置　節電モードでは、原稿を読み込むことはできません。節電モードを取り消すには、[節電] を押してください。

原因８　相手機の記録紙がなくなっていませんか？

処　置　相手に記録紙がなくなっていないか、確認してください。

原因９　送信中にエラーが発生しましたか？

処　置　通信管理レポートをプリントし、エラーが発生していないかどうか確認してください。（→通信管理レポートをプリントする：P.6-2）

原因10　電話回線が正しく動作していますか？

処　置　本製品に接続している電話機の受話器を持ち上げたとき、発信音があるかどうか確認してください。発信音がない場合は、契約している電話会社に相談してください。

原因11　相手機はG3機ですか？

処　置　相手機が本製品 (G3 ファクス機) と互換性があるか、確認してください。

原因12　相手機が通話中か、または電源が入っていない可能性があります。エラー送信レポートに<ﾊﾅｼﾁｭｳ ﾃﾞ ｼﾀ>と表示されていますか？

処置１　ダイヤルしたファクス電話番号が通話中です。時間をおいて送信しなおしてください。

処置２　相手機が動作していません。相手に連絡して、ファクス機を確認してもらってください。

原因13　相手機が(自動リダイヤル後)55秒以内に応答しましたか？

処　置　相手にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、電話番号にポーズを入れてください。（→海外にファクスを送る（ポーズの挿入）：P.4-11）

原因14　通信中/メモリランプが点灯していますか？

処　置　外付け電話機が通話中のとき、通信中 / メモリランプが点灯することがあります。外付け電話機の通話が終了するまで待ってください。

相手の受信原稿が汚れる

原因１　本製品が正しく動作していますか？

処　置　コピーをとって本製品の動作を確認してください。(→ユーザーズガイド「5章　コピーするには」)
コピーがきれいであれば、相手機の側に問題があります。コピーが汚れていれば、原稿台ガラスまたは原稿台の読み取り面を清掃してください。(→ ユーザーズガイド「8 章　日常のメンテナンス」)

原因 2　原稿が正しくセットされていますか？

処　置　いったん原稿を取り出して揃えなおし、原稿台または ADF に正しくセットしてください。(→ ユーザーズガイド「3 章　原稿の取り扱い」)

エラー訂正モード (ECM) を使って送信できない

原　因　相手機がエラー訂正モードに対応していますか？

処　置　相手機がエラー訂正モードに対応していない場合、原稿をエラー確認なしの通常モードで送信してください。

送信中にエラーが頻発する

原　因　電話回線状態が良好ですか？ あるいは、しっかりと接続されていますか？

処　置　送信速度を落としてください。(→メニューの設定内容<ｿｳｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ>:P.8-2)

受信時のトラブル

自動受信できない

原因 1　自動受信に設定されていますか？

処　置　自動受信に設定するには、受信モードを <ｼﾞﾄﾞｳ>、<FAX/TEL> または <ﾙｽ TEL> に設定します。(→「5 章　受信するには」) <ﾙｽ TEL> に設定してある場合は、留守番録音機が本製品に接続されていて、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っていることを確認してください。
<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ> で <ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ> を <ｽﾙ> に設定してある場合は、受信モードが <ｼｭﾄﾞｳ> でも自動的に受信します。(→メニューの設定内容 <ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ>：P.8-5)

原因 2　メモリがいっぱいですか？

処　置　メモリに保存されているファクスまたはプリントジョブが終了するまで待ってください。その後、もう一度送ってもらうよう相手側に依頼してください。

原因 3　受信中にエラーが発生しましたか？

処　置　通信管理レポートをプリントし、エラーが発生していないかどうか確認してください。(→通信管理レポートをプリントする：P.6-2)
また、受信結果レポートが自動的にプリントされたときに受信結果レポートを確認することもできます。(→受信結果レポートを設定する：P.6-6)

原因 4　電話回線が正しく接続されていますか？

処　置　すべての回線がしっかりと接続されていることを確認してください。(→ セットアップシート「電話回線を接続する」(MF5750 のみ)、セットアップシート (本体設置編)「電話回線に接続する」(MF5770 のみ))

電話とファクスが自動的に切り替わらない

原因 1　電話とファクスが自動的に切り替わるように設定されていますか？

処　置　自動的に切り替えるには、受信モードを <ﾙｽ TEL> に設定する必要があります。(→「5 章　受信するには」)
留守番電話が本製品に接続されていて、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っていることを確認してください。

原因 2　相手機が、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切換信号を送信することが可能ですか？

処　置　ファクス機によっては、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切換信号を送信することができません。その場合は、手動でファクスを受信する必要があります。（→手動で受信する：ｼｭﾄﾞｳ：P.5-4）

手動受信できない

原因 1　手動受信に設定されていますか？

処　置　手動で受信するためには、受信モードを <ｼｭﾄﾞｳ> に設定する必要があります。(→「5 章　受信するには」)

原因 2　受話器を置いた後で [スタート] を押していませんか？

処　置　受話器を置く前に [スタート] を押してください。
先に受話器を置くと、通話が切れてしまいます。

プリントされた原稿にムラがある

原因 1　正しいサイズの用紙を使用していますか？

処　置　本製品に適した用紙がセットされていることを確認してください。(→ ユーザーズガイド「5 章　コピーするには」)

原因 2　相手機が正常に機能していますか？

処　置　通常、ファクスの品質を左右するのは送信側のファクスです。相手に連絡して、相手機の読み取りガラスがきれいかどうか確認してもらってください。

原因 3　トナー節約モードに設定されていませんか？

処　置　メニューの<ｷｮｳﾂｳ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ>の<ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ>を<ｼﾅｲ>に設定してください。(→ユーザーズガイド「10 章　各種機能の登録 / 設定」)

プリントできない

原因 1　カートリッジが正しくセットされていますか？

処　置　カートリッジが正しくセットされていることを確認してください。(→ ユーザーズガイド「8 章　日常のメンテンンス」)

原因 2　カートリッジのシールテープを引き抜きましたか？

処　置　カートリッジからシールテープを引き抜いてください。(→ セットアップシート (MF5750 のみ)、セットアップシート (本体設置編)(MF5770 のみ)「カートリッジをセットする」)

原因 3　カートリッジにトナーが残っていますか？

処置 1　カートリッジを新しいものと交換してください。(→ ユーザーズガイド「8 章　日常のメンテンンス」)

処置 2　メニューの<ﾌｧｸｽ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ>の<ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ>の<ｲﾝｼﾞ ｹｲｿﾞｸ>で<ｽﾙ>を選択します。この設定では、トナーがなくなっても原稿をメモリに保存しません。
(→メニューの設定内容 <ｲﾝｼﾞ ｹｲｿﾞｸ>：P.8-6)

原因 4　正しい用紙がカセットにセットされていますか？

処置 1　用紙がカセットにセットされていることを確認してください。(→ ユーザーズガイド「2 章　用紙の取り扱い」)

処置 2　正しい用紙をセットするか、メニューの<ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ>の<ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ>を変更してください。詳細は次を参照してください。

- 「ユーザーズガイド」の「2 章　用紙の取り扱い」
- 「ユーザーズガイド」の「5 章　コピーするには」

画像に汚点またはムラがある

原因 1　電話回線状態が良好ですか？電話線は正しく接続されていますか？

処　置　送受信にエラー訂正モード (ECM) を使用すると、回線トラブルを軽減できます。それでも回線状態が悪い場合は、やり直しが必要です。相手に連絡して、原稿を再送信してもらってください。

原因2　相手機が正常に機能していますか？

処　置　通常、ファクスの品質を左右するのは送信側のファクスです。相手に連絡して、相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。

エラー訂正モード (ECM) を使って受信できない

原　因　相手機がエラー訂正モードに対応していますか？

処　置　相手機がエラー訂正モードに対応していない場合、原稿をエラー確認なしの通常モードで送信してください。

受信中にエラーが頻発する

原因1　電話回線状態が良好ですか？ あるいは、しっかりと接続されていますか？

処　置　受信速度を落としてください。(→メニューの設定内容<ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ>:P.8-2)

原因2　相手機が正常に機能していますか？

処　置　相手に連絡して、相手機が正常に機能しているかどうか確認してもらってください。

電話のトラブル

ダイヤルできない

原因1　電話回線が正しく接続されていますか？

処　置　すべての回線がしっかりと接続されていることを確認してください。(→ セットアップシート「電話回線を接続する」(MF5750 のみ)、セットアップシート (本体設置編)「電話回線に接続する」(MF5770 のみ))

原因2　電話回線の種類 (ダイヤル / プッシュ) が正しく設定されていますか？

処　置　電話回線の種類を確認し、正しく設定してください。　(→電話回線の種類を設定する：P.2-9)

話し中に電話が切れる

原　因　電話回線がしっかりと接続されていますか？

処　置　電話ケーブルが本製品のジャック、壁面の電話ジャック、および電話機のジャックにしっかりと接続されていることを確認してください。(→ セットアップシート「電話回線を接続する」(MF5750 のみ)、セットアップシート (本体設置編)「電話回線に接続する」(MF5770 のみ))

電力供給が途絶えた場合

停電が起きたり、電源コードが抜けたりして突然電力の供給が途絶えても、内蔵バッテリーによりメニューの設定内容やダイヤル登録されたファクス/電話番号などは記憶されています。メモリ内に保存された送受信原稿は約 3 分間、そのまま保存されます。

電力供給が途絶えている間の機能は、以下のように制限されます。

- ファクスの送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 本製品に接続された電話機で、電話をかけられない場合があります。(電話機の種類により異なります)
- 本製品に接続された電話機で、電話を受けることは可能です。

トラブルが解決しない場合

本製品にトラブルが発生し、この章および「ユーザーズガイド」の「9 章　困ったときには」の説明を参照しても解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

各種機能の登録 / 設定

本体の設定を行う方法を説明します。設定項目のリストもご参考のため示します。

設定メニューを使う

1 **[メニュー] を押します。**

2 **[◀ (-)] または [▶(+)] を押して、変更したいメニューを選択し、[OK] を押します。**

設定項目が表示されます。

3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して、変更したいサブメニューを選択し、[OK] を押します。**

メモ
- 各メニュー項目については、次の「メニューの設定内容」を参照してください。
- [OK] を押す前に [ストップ / リセット] を押した場合は、選択した項目は登録されません。
- メニューを終了するには、[ストップ / リセット] を押します。
- [メニュー] を押すと、前の表示に戻ります。

メニューの設定内容

- 設定を変更する前に、ユーザデータリストをプリントして現在の設定を確認してください。（→ユーザ データリストをプリントする：P.6-7）
- 用紙設定、共通機能設定、コピー仕様設定、プリンタ仕様設定、およびタイマー設定について詳しくは、「ユーザーズガイド」の「10 章　各種機能の登録 / 設定」を参照してください。

ファクス仕様設定

設定項目	説明内容
1. ｼﾞｭｼﾝﾓｰﾄﾞ	ファクスおよび電話の受信方法を設定します。
ｼﾞﾄﾞｳ	ファクスを自動的に受信し、電話の場合でも受信動作に移行した後に通信を切断します。
FAX/TEL	ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音を鳴らします。
ﾙｽ TEL	本製品はファクスを自動的に受信し、留守番電話機が電話を録音します。
ｼｭﾄﾞｳ	ファクスおよび電話を受信したとき、接続されている電話機の呼び出し音が鳴ります。ファクスは手動で受信する必要があります。(<ｼﾞﾄﾞｳｼﾞｭｼﾝｷﾘｶｴ>が<ｽﾙ>に設定されている場合は自動で受信することも可能です。→ P.8-5)
2. ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ	ファクスの基本動作設定が指定できます。
1. ﾃﾞﾝﾜ ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ	電話回線の設定を指定します。
1. ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ	ユーザのファクス / 電話番号をスペースも含めて 20 桁以内で登録できます。（→発信元番号と発信者名を登録する：P.2-8）
2. ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ	電話回線の種類を選択します。（→電話回線の種類を設定する：P.2-9）
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ	電話回線をプッシュ回線に設定します。
ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ	電話回線をダイヤル回線に設定し、回線速度を選択します。 **20** / 10 PPS
3. ｿｳｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ	送信する原稿の伝送速度を設定します。 **33600** / 14400 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bps
4. ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ	受信する原稿の伝送速度を設定します。 **33600** / 14400 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bps
2. ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ	ユーザの名称または会社名をスペースも含めて 24 文字以内で登録できます。（→発信元番号と発信者名を登録する：P.2-8）

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	説明内容
3. ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ	発信元情報を設定します。
ﾂｹﾙ	発信元情報が各ページの上部に小さな文字でプリントされます。
1. ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ	発信元情報を画像領域の内側に置くか、外側に置くかを選択します。 **ｶﾞ ｿﾞ ｳﾉ ｿﾄﾆ ﾂｹﾙ :** 発信端末 ID が画像の境界の外側にプリントされます。 ｶﾞ ｿﾞ ｳﾉ ﾅｶﾆ ﾂｹﾙ : 発信端末 ID が画像の境界の内側にプリントされます。
2. ﾃﾞ ﾝﾜﾊﾞ ﾝｺﾞ ｳ ﾏｰｸ	発信元情報の電話番号の前に **FAX** または TEL を付けることができます。
ﾂｹﾅｲ	発信元情報はプリントされません。
4. ｵﾌﾌｯｸｱﾗｰﾑ	受話器が受け台に乗っていないときにアラームを発するオフフックアラームを設定します。
ﾅﾗｽ	外付け電話機の受話器が受け台に乗っていないとき、オフフックアラームが鳴ります。
ﾅﾗｻﾅｲ	オフフックアラームは無効です。
5. DM ｾｲｹﾞ ﾝ	相手機を識別するために使用されている発信人 ID(TSI) 信号を検出することによってファクスを受信するかどうかを設定します。
ｼﾅｲ	すべてのファクスを受信します。
ｽﾙ	発信人 ID(TSI) 信号を送信している相手機からのファクスだけを受信します。
3. ﾚﾎﾟ ｰﾄ ｾｯﾃｲ	レポート機能に関する設定を行います。
1. ｿｳｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟ ｰﾄ	送信結果レポートの自動プリントを設定します。
ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟ ﾘﾝﾄ	送信エラーが発生したときだけレポートをプリントします。
ｿｳｼﾝ ｶﾞ ｿﾞ ｳ	レポートにおいて、ファクスの 1 ページ目のプリントを設定します。
ﾂｹﾅｲ	ファクスの 1 ページ目をプリントしません。
ﾂｹﾙ	ファクスの 1 ページ目をプリントします。
ﾌﾟ ﾘﾝﾄ ｽﾙ	原稿を送信するたびにレポートをプリントします。
ｿｳｼﾝ ｶﾞ ｿﾞ ｳ	レポートにおいて、ファクスの 1 ページ目のプリントを設定します。
ﾂｹﾅｲ	ファクスの 1 ページ目をプリントしません。
ﾂｹﾙ	ファクスの 1 ページ目をプリントします。

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	説明内容
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	レポートをプリントしません。
2. ｼﾞｭｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	受信結果レポートの自動プリントを設定します。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	レポートをプリントしません。
ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ	受信エラーが発生したときだけレポートをプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ	原稿を受信するたびにレポートをプリントします。
3. ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	20 回通信（送信と受信）するたびに、通信管理レポートの自動プリントをするかどうかを設定します。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ	通信管理レポートを自動的にプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	通信管理レポートをプリントしません。
4. ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ	送信機能を設定します。
1. ECM ｿｳｼﾝ	ECM(エラー訂正モード) 送信をオン / オフします。
ｽﾙ	相手機が ECM 対応の場合、すべての送信を ECM 付きで行います。
ｼﾅｲ	ECM をオフにします。
2. ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ	ダイヤルに挿入するポーズ長さを設定します。 1 ～ 15 秒 (**2** 秒)
3. ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ	相手が通話中または応答がないとき、自動リダイヤルを行うかどうかを設定します。
ｽﾙ	リダイヤル動作をカスタム化します。
1. ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ	リトライ回数を設定します。 1 ～ 10 回 (**2 回**)
2. ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ	リダイヤル間の時間周期を設定します。 2 ～ 99 分 (**2 分**)
ｼﾅｲ	最初のダイヤルで送信できなかった場合、リダイヤルは行いません。
4. ﾀﾞｲﾔﾙﾀｲﾑｱｳﾄ	ファクス番号を入力した後、原稿の自動読み込みを設定します。
ｽﾙ	ファクス番号を入力した後、5 または 10 秒以内に読み込みを開始します。
ｼﾅｲ	原稿を読み込むためには、[スタート] を押します。[スタート] を押さないと、1 分後に自動クリア機能が作動し、ディスプレイは待受画面に戻ります。(→ ユーザーズガイド「10 章　各種機能の登録 / 設定」)

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	説明内容
5. ﾀﾞｲﾔﾙｼﾞｶｲｾﾝｶｸﾆﾝ	ダイヤル時の回線確認を設定します。
ｽﾙ	ダイヤル時の回線確認をオンにします。
ｼﾅｲ	ダイヤル時の回線確認をオフにします。
5. ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ	受信機能を設定します。
1. ECM ｼﾞｭｼﾝ	ECM(エラー訂正モード) 受信をオン / オフします。
ｽﾙ	相手機が ECM 対応の場合、すべての受信を ECM 付きで行います。
ｼﾅｲ	ECM をオフにします。
2. F/T ｼｮｳｻｲ ｾｯﾃｲ	FAX/TEL をセットすると、以下のオプション項目を設定できます。
1. ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	ファクス信号を聞いてから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。 0 秒〜 30 秒 (**6** 秒)
2. ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	着信呼び出し音を鳴らす時間を設定します。 15 秒〜 300 秒 (**15** 秒)
3. ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞ ﾉ ﾄﾞｳｻ	F/T 呼び出し時間が経過した後の対応を選択します。
ｼﾞｭｼﾝ	ファクス受信モードに自動的に切り替えて、ファクス受信を開始します。
ｼｭｳﾘｮｳ	通信を切断します。
3. ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	電話を受信したとき電話機が呼び出し音を鳴らすかどうかを設定し、電話に応答できるようにします。この機能は、ファクス受信モードが<ｼﾞﾄﾞｳ>に設定されているときだけ利用できます。
ｼﾅｲ	電話を受信したとき、電話機は呼び出し音を鳴らしません。
ｽﾙ	電話機が接続されている場合、電話を受信したとき電話機は呼び出し音を鳴らします。
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	着信呼び出し音回数を設定します。指定した呼び出し音回数の後、電話は切断されます。 1 〜 99 回 （**2 回**）
4. ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ	手動受信モード時に、接続されている外付け電話機が指定時間の間呼び出し音を鳴らした後、原稿受信モードに切り替えるかどうかを設定します。
ｽﾙ	接続されている外付け電話機が指定時間の間呼び出し音を鳴らした後、原稿受信モードに切り替えます。
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	原稿受信モードに切り替えるまでの時間長さを設定します。 1 〜 99 秒 (**15 秒**)

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	説明内容
ｼﾅｲ	誰かが手動で電話に応答するまで、接続されている外付け電話機が呼び出し音を鳴らし続けます。
5. ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ	リモート受信を設定します。
ｽﾙ	リモート受信が可能です。
ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ ID	外付け電話機から番号をダイヤルして、原稿の受信を開始することができます。 0 ～ 9、＊および＃を使用した 2 桁の組み合わせが可能です。 初期設定は **25** です。
ｼﾅｲ	リモート受信は無効です。
6. ｶﾞｿﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ	縮小して画像を受信します。
ｽﾙ	縮小受信します。
1. ｼｭｸｼｮｳ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ	ｼﾞﾄﾞｳ：縮小サイズは自動的に設定されます。 ｺﾃｲ：縮小サイズを事前に設定します。 97%、95%、**90%**、75%
2. ｼｭｸｼｮｳ ﾎｳｺｳ ｾﾝﾀｸ	ﾀﾃﾉﾐ：縦方向だけ縮小されます。 ﾀﾃ ﾖｺ ﾄﾓ：縦および横方向が縮小されます。
ｼﾅｲ	縮小受信しません。
7. ｲﾝｼﾞ ｹｲｿﾞｸ	トナー供給が低下したとき、本製品の対応方法を設定できます。
ｼﾅｲ	すべての原稿をメモリに受信します。
ｽﾙ	印字を継続します。この設定では、トナーがなくなっても原稿はメモリに保存されません。カートリッジを新しいものと交換した後は、<ｼﾅｲ> に再設定してください。
6. ｼｽﾃﾑ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ	ファクスモードの画質の初期設定をします。
1. FAX ﾎｰﾑﾎﾟｼﾞｼｮﾝ	ファクス機能の初期設定をします。
1. ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ	読み取り濃度を設定します。
ﾌﾂｳ	標準原稿に適しています。
ｺｸ	薄い原稿に適しています。
ｳｽｸ	濃い原稿に適しています。
2. ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	ファクス解像度を設定します。
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ	ほとんどテキストだけの原稿に適しています。
ﾌｧｲﾝ	細かい文字などの原稿に適しています。
ｼｬｼﾝ	写真が入っている原稿に適しています。

（**太字**は工場出荷時の設定）

設定項目	説明内容
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ	細かい文字および画像が入っている原稿に適しています。（解像度は標準の４倍です）
ｳﾙﾄﾗﾌｧｲﾝ	細かい文字および画像が入っている原稿に適しています。（解像度は標準の８倍です）

（**太字**は工場出荷時の設定）

宛先登録

設定項目	説明内容
1. ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。（→ワンタッチ ダイヤルを登録する：P.3-1）12 件まで登録できます。
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	相手のファクス / 電話番号 (スペースも含めて最大 120 桁) を登録します。
2. ﾅﾏｴ	相手の名称 (スペースも含めて最大 16 桁) を登録します。
2. ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ	短縮ダイヤルの情報を登録します。100 件まで登録できます。（→短縮ダイヤルを登録する：P.3-3）
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	相手のファクス / 電話番号 (スペースも含めて最大 120 桁) を登録します。
2. ﾅﾏｴ	相手の名称 (スペースも含めて最大 16 桁) を登録します。
3. ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ	グループダイヤルの情報を登録します。111 件まで登録できます。（→グループ ダイヤルを登録する：P.3-5）
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号を指定することによって相手のファクス / 電話番号を登録します。
2. ﾅﾏｴ	相手の名称 (スペースも含めて最大 16 桁) を登録します。

レポート / リスト

設定項目	説明内容
1. ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	通信件数が 20 件となって自動印刷される前に手動でレポートをプリントします。
2. ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ	ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、またはグループダイヤル用に登録されているファクス / 電話番号のリストをプリントします。 ワンタッチダイヤルリスト、短縮ダイヤルリスト、グループダイヤルリストがプリントできます。
3. ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ	メニューに設定または登録されている項目のリストをプリントします。

付録

本章では、本製品のファクス機能のおもな仕様および索引を記載します。

おもな仕様

仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ファクス機能

適用回線	公衆電話網（PSTN）
互換性	G3
データ圧縮方式	MH, MR, MMR, JBIG
モデム速度	33.6/31.2/28.8/26.4/24/21.6/19.2/16.8/14.4/12/9.6/7.2/4.8/2.4 Kbps 自動フォールバック
電送速度	約 3 秒 / ページ* ECM-JBIG、33.6 Kbps でメモリから送信 * ITU-T No.1 チャート、標準モードの場合
送信 / 受信メモリ	送信：最大約 256 ページ* 受信：最大約 256 ページ* * ITU-T No.1 チャート、標準モードの場合
ファクス読み取り速度	0.8 msec/ ライン* * ITU-T No.1 チャートの場合
ファクス解像度	標準モード：8 画素 /mm × 3.85 ライン /mm ファインモード：8 画素 /mm × 7.7 ライン /mm フォトモード：8 画素 /mm × 7.7 ライン /mm スーパーファインモード：8 画素 /mm × 15.4 ライン /mm ウルトラファインモード：16 画素 /mm × 15.4 ライン /mm

ダイヤル方式	• ダイヤル登録機能 ワンタッチダイヤル (12 件) 短縮ダイヤル (100 件) グループダイヤル (111 件) 電話帳ダイヤル (電話帳キーによる) • 通常ダイヤル (数字キーによる) • 自動リダイヤル • 手動リダイヤル (リダイヤル / ポーズキーによる)
通信機能	• 同報送信 (113 件) • 自動受信 • 電話機によるリモート受信 (初期設定 ID: 25) • 通信管理レポート (20 件ごと) • 送信 / 受信結果レポート • 発信元情報

電話機能

接続可能な電話	電話機 / 留守番録音機 (切換え検出信号)

記号

D

E

F

O

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

本書は、本文に70%の
再生紙を使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FA7-6526　(010)

PRINTED IN CHINA